

平成 28 年 4 月 20 日

山口大学医学部における寄附講座の開設について

～がんに苦しむことのない社会を目指して～

東洋鋼鉄株式会社

東洋鋼鉄株式会社（本社：東京都千代田区）の寄附により、2016年4月から3年間にわたり、山口大学医学部に「先端がん治療開発学講座」が開設されることとなりましたので、お知らせします。

本邦並びに先進国の死亡原因は圧倒的に悪性腫瘍によるものが多く、なかでも大腸癌・胃癌・膵癌・肝癌・食道癌・乳癌などの消化器・一般外科領域の固形癌の罹患率は高く、悪性腫瘍死亡の半数以上を占めており、国家的な対策が求められています。

先端がん治療開発学講座では、学内外の基礎・臨床研究者並びに企業との産学連携研究を行い、直接患者さんの診断・治療に役立つシーズを育て、がん個別化医療、がん複合免疫療法、がん再生細胞療法、新規がん免疫薬剤等の開発を行うことを目的としています。

世界的に望まれている個別化医療を実現するために、薬剤の効果や毒性予測に有用なマーカー遺伝子を搭載した体外診断用医薬品を新たに開発・製造し、山口県から世界に販売することで、個々の患者の薬効予測や副作用予測を可能にし、最も有用で副作用のない治療を提供します。

共同研究により見出した遺伝子マーカーもしくは診断・判定アルゴリズムを山口大学発のシーズとし、当社の有するDNAチップ技術によって産業化を目指します。

当社は、本寄附講座における研究開発活動を通じて、がんに苦しむことのない社会の実現に貢献したいと考えています。

【寄附講座の概要】

1. 大学名 山口大学医学部
2. 寄附講座の名称 先端がん治療開発学
3. 寄附者 東洋鋼鉄株式会社 代表取締役社長 隅田 博彦
日本電気株式会社 代表取締役 執行役員社長 兼 CEO 新野 隆
4. 設置期間 2016年度～2018年度（3年間）
5. 担当教員及び職名 碓 彰一 教授
徳光 幸生 助教
6. 研究内容
 - (1) 薬剤の効果や毒性予測に有用なマーカー遺伝子を搭載した体外診断用医薬品の開発・実用化
 - (2) 複合免疫療法(ペプチドワクチン療法)の実用化



「先端がん治療開発学講座」開設式の様子

<リリースに関するお問い合わせ>

東洋鋼板株式会社 事業推進室 ライフサイエンス事業グループ

担当：岡村、磯貝

電話番号：03-5211-6208 お問い合わせ：<http://tkworks.jp> ※当社HPよりお問い合わせ下さい

以上